



□オンライン開催

死生学研究所ホームページから  
お申込みください

□お申込み締め切り

2023年5月24日(水) 17時

□先着 100名様

□お問合せ 死生学研究所

shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

□参加費 無料

## 第2回連続講座

# 林美枝子

日本医療大学総合福祉学部  
(はやしみえこ) 介護福祉マネジメント学科 教授

5月27日(土)

16:30-18:00

### ■プロフィール

北海道大学大学院医学研究科社会医学専攻博士課程修了。日本医療大学保健医療学部看護学科を経て2022年からは総合福祉学部介護福祉マネジメント学科教授。医学博士。専門は医療人類学。現在、看取り文化の再生とその社会的継承について研究している。また日本公許女医第一号の荻野吟子について、その北海道時代の史料収集を行っている。

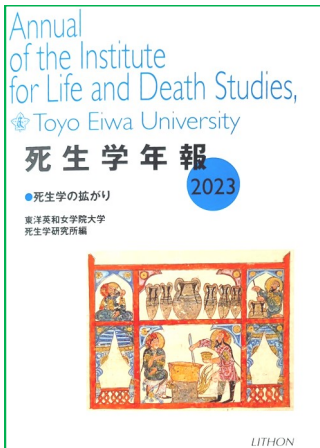
### ■主要業績

共著に『森林医学』(朝倉書店2005)、『北海道社会とジェンダー』(明石書店2013)、『医療人類学を学ぶ人のための60冊』(明石書店 2018)等がある。単著は『介護人類学事始め 生老病死の考現学』(明石書店 2020)。監訳書として『看取りのドゥーラ 最期の命の寄り添い人』(明石書店2022)がある。2023年3月末には、熊谷市から4人の執筆者の一人として『熊谷市史調査報告書 荻野吟子—その歩みと出会い』を発刊。現在は『北海道現代史』(北海道庁2023年刊行予定)の介護・医療、ジェンダーのページを執筆中。また2025年完成を目指すWebサイト『看取りねっと』<http://www.mitorinet/>を構築している。

## 『看取りのドゥーラ』をめぐる 介護人類学的考現学、最期の寄り添い人が 臨死期をどう変えていくのか

### 内容紹介:

人は、臨死期に人生の意義を求めるスピリチュアルな痛みに苛まれます。大切な人をその人らしく逝かせるためには、この痛みを乗り越え、最後の命をその人らしく生きさせるためのサポートが必要なのです。医療や介護の専門家による、様々な取り組みが日本では始まっていますが、欧米では、そうした専門家ではない、一般の地域住民が臨床の場に寄り添う「看取りのドゥーラ」の養成が始まっています。死が忌避され、在宅死の看取りが、極めて私的な領域に秘められてきた日本にも、この制度の本格的な導入は可能なのでしょうか。多死社会を迎えようとしているのに独居世帯率が高まる日本で、看取り介護の新たなピースとなるかもしれない「看取りのドゥーラ」について学びます。



## 東洋英和女学院大学死生学研究所編

# 死生学年報2023

## 死生学の拡がり

- ◆書店にて定価2,500円+税でご注文、ご購入いただけます。
- ◆お問い合わせ先 東洋英和女学院大学 死生学研究所

〈予告〉

◇第3回 〈公開〉連続講座 6月24日(土) 16:20~17:50

相澤出(東北医科薬科大学 教養教育センター 准教授)

お申込み

